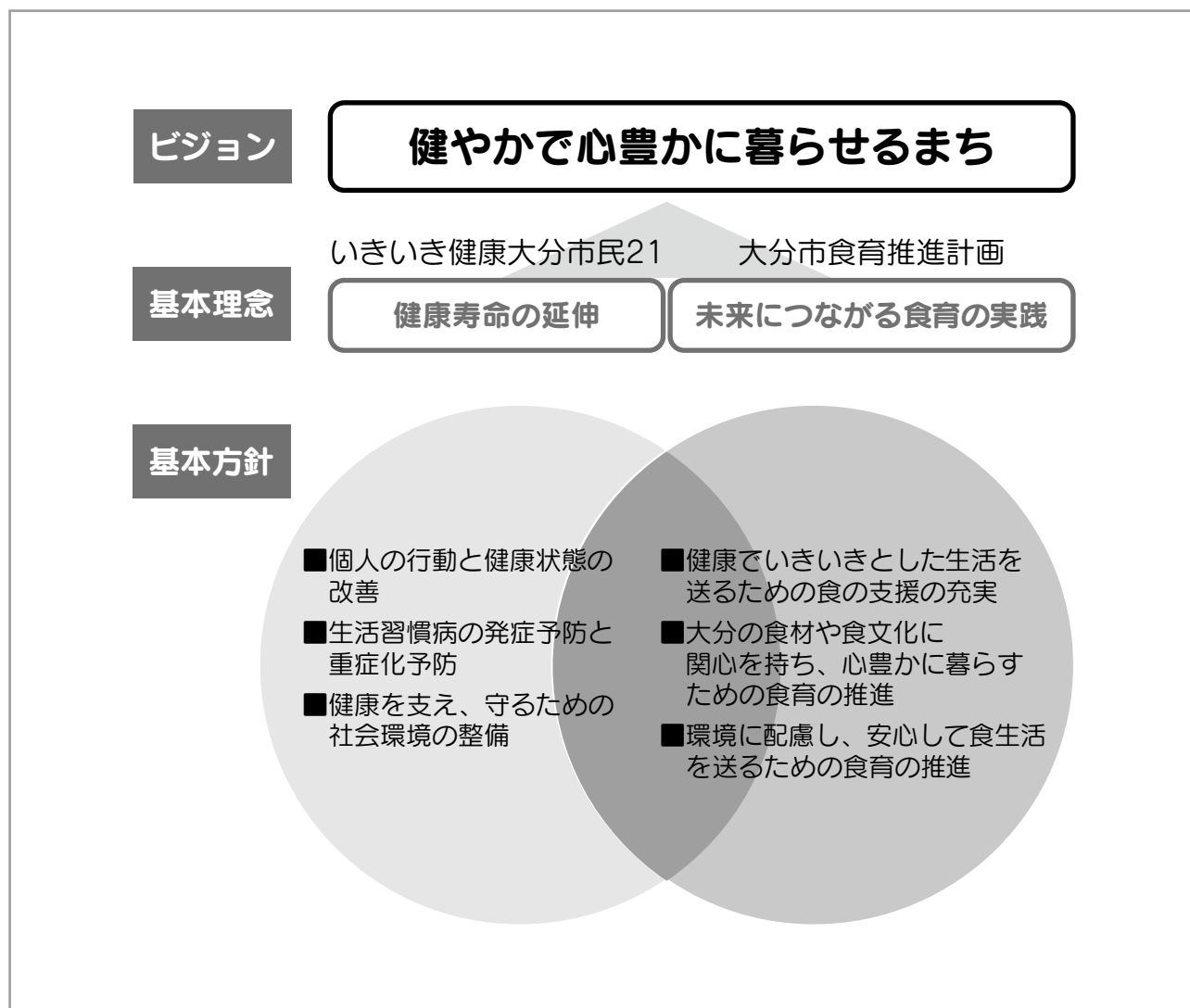


第3章 大分市いきいき健康・食育プランの目指す姿

第2章で示した様々な課題と大分市総合計画の方針、近年の社会動向等を踏まえ、第3期いきいき健康大分市民21と第4期大分市食育推進計画に関する施策を一体的かつ計画的に推進していくために、「健やかで心豊かに暮らせるまち」をビジョンに位置付け、将来の課題を見据えた取組を進めるための基本理念と基本方針を定め、その実現を目指します。

大分市いきいき健康・食育プラン

～第3期いきいき健康大分市民21・第4期大分市食育推進計画～の概念図



1 基本理念

いきいき健康大分市民21

健康寿命の延伸

すべての市民が自分の健康状態を知り、主体的に健康の保持増進に取り組み、生涯を通して健康で生きがいを持った生活ができるよう、市民の健康状態や行動の改善に向けた啓発等を行うとともに、社会環境の整備に取り組み、健康寿命の更なる延伸及び健康格差の縮小を目指します。

「日常生活に制限のない期間の平均」を見ると、2023(令和5)年度は男性80.82年、女性84.84年であり、2034(令和16)年度は平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加を目標とします。

大分市食育推進計画

未来につながる食育の実践

家庭、地域、学校等と連携し、こどもから高齢者までのすべての市民が健やかで心豊かに暮らせるように食育を推進するとともに、その実践を通して持続可能な社会の実現に寄与することを目指します。

2 基本方針

(1) 第3期いきいき健康大分市民21の基本方針

●個人の行動と健康状態の改善

健康寿命の延伸に向け、個人の行動と健康状態の改善は重要です。生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防・重症化予防に加え、生活機能の維持・向上の観点も踏まえた取組を推進します。

●生活習慣病の発症予防と重症化予防

急速な高齢化を背景として、生活習慣病の有病者数の増加も見込まれていることから、生活習慣病等の知識の普及啓発を行いつつ、各種健(検)診受診率の向上を図り、結果に基づいた保健指導を徹底し、生活習慣の改善や適切な治療につないでいきます。

●健康を支え、守るための社会環境の整備

市民一人ひとりが自らの健康づくりに主体的に取り組むための支援を行うとともに、健康に資する多様な主体による環境の整備を推進します。

(2) 第4期大分市食育推進計画の基本方針

●健康でいきいきとした生活を送るための食の支援の充実

健全な食生活に関する情報発信や環境の整備を行い、健康寿命の延伸につながる食生活を実践する市民を増やすための食育を推進します。

●大分の食材や食文化に関心を持ち、心豊かに暮らすための食育の推進

大分の食材や食文化を通じ、食への関心や農林漁業の果たしている役割について理解を深め、食べ物や生産者等への感謝の気持ちや大分のよさ(大分でとれる食材や料理、その背景となる風土等)を大切にする市民を増やすための食育を推進します。

●環境に配慮し、安心して食生活を送るための食育の推進

環境への配慮や食の安全、災害時における備えといった食を取り巻く情勢への関心や理解を深め、自らの判断で適切な食の選択ができる市民を増やすための食育を推進します。

3 取組の視点

(1) 社会全体で一体となった取組の推進

市民一人ひとりの主体的な取組を支援するため、関係機関・団体等が相互に連携を図り、社会全体で健康づくり及び食育の推進に取り組みます。

(2) ライフコースアプローチを踏まえた取組の推進

胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり(ライフコースアプローチ)の観点を取り入れ、市民一人ひとりが主体的に取り組めるよう、こどもから高齢者までのライフステージに応じた、切れ目のない健康づくり及び食育を推進します。

(3) SDGsへの取組について

SDGsは、持続可能なよりよい世界を目指し、2030(令和12)年までに解決すべき国際目標として、2015(平成27)年の国連サミットにて採択されたものです。貧困や飢餓、さらには気候変動や平和等の広範な分野にわたって17の目標と、それを達成するための169のターゲットで構成されています。

本計画の推進がSDGs達成に向けての一助となるよう取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料:国連広報センター